

よりそいネットおおさか 第4回総会

2012年8月6日(月)に、「よりそいネットおおさか」(福祉の支援を必要とする矯正施設等を退所した人々の自立支援おおさかネットワーク)総会が開催され、加盟団体等から約70人の参加がありました。

第1部では、代表梶本徳彦さん(府社会福祉協議会会長)の主催者代表挨拶、大阪府から福祉総務課長古川美信さん、大阪保護観察所の統括保護観察官井之口隆さんから来賓挨拶を受け、事務局より2011年度活動報告、2012年度活動方針が承認されました。

2012年度の役員体制は、村井茂さん(大阪府人権協合理事長)、藤本昌夫さん(更生保護施設和衷会施設長)が、新しく役員に就任されました。

第2部は、龍谷大学法科大学院(矯正・保護総合センター)教授浜井浩一さんを招き、「罪を犯した者の更生と今後の課題～

日本の犯罪と刑事司法(刑罰)を実証的に検証する～」をテーマに記念講演会を開催し、約80人が参加しました。



大阪府人権総合講座(前期)を終了しました

7月11日～9月6日の15日間、全56科目の様々な人権課題をテーマとする総合的な講座として、大阪府から事業受託し、実施しました。前期は延べ146人の方が受講しました。

人材養成3コースの受講者と修了者は下記のとおりです。

人材養成コース (受講者/修了者)

- ① 権総合相談員養成(基礎)コース (49人/36人)
- ② 人権担当者新転任養成コース (18人/13人)
- ③ 権啓発ファシリテーター養成コース (12人/3人)

科目選択受講者 67人

受講者の感想

- ・「人権とは」と問いかけた時「思いやり、いたわり、優しさ」の答えが出てきます。その言葉の奥に「強い者」「弱い者」の関係が隠れているとは思いませんでした。
- ・誰もが人権の主体であることを忘れてはいけないことを学びました。
- ・一人ひとりの学ぶ権利を保障し、多様な考えに出会い、自分がどう生きていくのかを考えることが、人権が尊重された社会の実現につながっていくことを学んだ。

賛助会員の募集と寄付のお願い

財団法人大阪府人権協会が行う、被差別・社会的マイノリティの人権を柱とする人権啓発、人権相談・支援、ネットワークづくりを支えていただける賛助会員の募集と寄付のお願いをしています。

賛助会員には、日常的な人権に関する相談や人権研修の相談、講師派遣、「人権協会ニュース」の送付、各種講座・研修会・講演会等のご案内をいたします。また、当協会の出版物・講座参加費の割引等もあります。

何卒、ご支援いただきますよう、よろしく申し上げます。会費および寄付は、郵便振替口座にお振り込みください。

- * 口座名 : 財団法人大阪府人権協会
- * 口座記号番号 : 00930-8-272377

賛助会員	個人	1口	5,000円
	団体・法人	1口	30,000円
寄付金	個人	1口	1,000円
	団体・法人	1口	10,000円

賛助会員入会 ありがとうございます

2012年4月から10月末現在(敬称略)

個人賛助会員: 宮本由起代、佐々木妙月、牛頭真也、zaima、田中忠行、中川拓、西川京子、藤塚時次、森本志磨子、足立悦雄、谷元達夫、倉田清、神藤勲、養父知美、梶本徳彦、堀之内慎也、荻田哲男、寺木伸明、森実、村井康利 他7人

団体・法人賛助会員: 同和問題に取り組む大阪宗教者連絡協議会、

(特活)のびやか生活応援センター、大阪府農業協同組合中央会、他1団体

個人寄付: 中尾清、平本えり子(イギリス在住)のべ16人



編集・発行  財団法人 大阪府人権協会

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL 06-6581-8613 FAX 06-6581-8614
URL: <http://www.jinken-osaka.jp>
E-mail: info@jinken-osaka.jp

人権相談・啓発等事業をぜひご活用ください

選定を受けた委託事業

財団法人大阪府人権協会(以下、「大阪府人権協会」という。)では、今年度4月より「人権相談・啓発等事業」を実施しています。この事業は、市町村と大阪府とが協定を結び、大阪府が公募により実施するもので、大阪府人権協会が応募し、その選定を受けて実施するものです。この事業は、人権相談と人権啓発支援、それらを進める人材養成を柱とした10の事業を行っています。

事業年度の中間である9月を終えて、本事業の状況を報告するとともに、本事業の活用をさらに呼びかけたいと思います。

人権相談の増加と複雑化

人権相談窓口での相談対応は、実件数で208件、対応の件数は485件でした。これは、昨年度の同時期に比べて実件数で3割増となっています。また、のべ件数では4割増となっており、何度も対応が必要な相談も増えています。

市町村の相談を支援するサポート事業の利用も増え、弁護士などの専門家と連携した相談は8割増となっています。また、人権問題別集中相談の情報を得て相談されることも出てきています。

このことから、府民向けの総合的な人権相談窓口として相談を受け付けるとともに、「人権相談機関ネットワーク」などの様々な機関との連携によって、継続的な相談を進めていくことが求められています。

市町村の啓発を支援

市町村等の啓発事業を支援するためのアドバイスとして37件の相談を受け付けました。研修や講座の講師紹介や、研修プランの作成と実施などを進めてきました。また、地域で活躍する啓発リーダーを養成するた

めの検討に、専門アドバイザーを派遣しています。

人権情報をメールで配信

新聞に掲載された人権情報と、市町村や人権団体等が行うイベントや講座等の情報を掲載したメールマガジン「人権あらかると」を、月2回配信しています。第11号までで、新聞記事情報636件、イベント等情報152件を掲載してきました。

このメールマガジンは、府市町村や人権団体からお知らせいただいた情報をまとめて配信するもので、より多くの情報を大阪府人権協会にお知らせいただくことが、より多くの人権情報をお届けすることにつながりますので、ぜひご活用いただきたいと思ひます。

事業を進める人を養成

人権相談員やコーディネーターなどの6つの養成コースを持つ「人権総合講座」は、前期に新転任者養成コースと人権相談員養成基礎コース、人権ファシリテーター養成コースの3コースを実施しました。各コースの受講と一部科目の受講とを合わせて146名の受講があり、52名が養成コースを修了されました。人権の取り組みを進めるためには人の養成は欠かせないことから、コースとして養成していく本講座をぜひご活用いただきたいと思ひます。

人権のネットワークづくりへ

以上の事業に取り組むことで、人権相談と人権啓発、これらを担う人づくりを促進し、府内における人権の取り組みを前進させていきたいと思ひます。そして、これらによって大阪府や市町村、人権関係団体の取り組みのネットワークにつなげていくことが大阪府人権協会の役割のひとつであると考えています。ぜひ、ご協力とご活用をお願いいたします。

【出版物のお知らせ】

研修でご活用ください!!
人権問題を自分のこととして考え行動できるために。参加体験型の人権・部落問題学習のプログラムと理論を掲載しました。参加体験型を実施する時のQ&Aも掲載。
定価: 1,300円+税



事業紹介

自殺防止サポーター養成講座

相談の中で「死にたい」と言われたらどう対応すればいいのか？と悩む相談員のために実践に役立つ演習を取り入れた講座を行います。今年で3回目となる講座ですが、「自殺の思いを持った人にどう対応すればいいか良くわかり支援に役立つ」と毎回好評を博しています。

日時：2012年11月5日(月)、12日(月)

10時～17時

会場：HRCビル(大阪市港区波除)

参加費：無料

講師：深尾泰さん NPO 法人国際ボランティアズ 大阪自殺防止センター所長
野田哲郎さん 大阪府立精神医療センター医務局長
根岸親さん NPO 法人自殺対策支援センターライフリンク 副代表
朝比奈ミカさん 千葉県中核地域支援センター
がじゅまるセンター長

相談員用に「死にたい」と言われたらどのように応答するのか動画でわかりやすく解説したDVDを作成しました。必要な方は当協会までご連絡ください。

大阪府人権総合講座(後期)

前期に引き続き、様々な人権課題をテーマとする総合的な講座「大阪府人権総合講座」(大阪府委託事業)の後期を開催します。

前期は府内市町村の職員、NPO等様々な相談現場の職員の方や、人権啓発の担当者等をはじめ様々な方に受講していただきました。

後期も、多くの受講者とともに人権について学ぶ充実した講座にしたいと考えています。

2012年11月14日～2013年2月19日の合計17日間、全67科目の開催です。

人材養成のコースは下記3コースですが、全67科目の中から、選択して受講することも可能です。

各科目に定員がありますので、受講を希望される方は事前にお問い合わせください。

人材養成コース

- ①人権総合相談員養成(応用)コース
相談員経験1～3年の方
2012年11月14日(水)～2012年12月26日(水) 31科目
- ②人権総合相談員養成(専門)コース
相談員経験3年以上の方
2012年11月21日(水)～2013年2月19日(火) 30科目
- ③人権コーディネーター養成コース
人権啓発に関する企画を立案し実施できるコーディネーター(担当者)の方
2012年11月21日(水)～2013年2月19日(火) 17科目

第5期参加体験型人権・部落問題(RAAP)プログラム ファシリテーター養成講座の参加者募集

「学習の参加者が人権を自分の問題として行動できる」ことをめざした7本のプログラム「人間関係・人権概念(多様性・対立・平等)・部落問題」を実施できる力を身につけます。少人数で理論・スキル・実践をトータルに学べる講座です。ぜひご参加ください。

日時：2012年12月22・23日、2013年1月5・6日、
1月12・13日(いずれも土日) 10時～17時

会場：HRCビル(大阪市港区波除)

参加・資料代：50,000円(分割等支払方法は相談に応じます)ただしNPO・団体等所属は18,000円

講師：上杉孝實さん(京都大学名誉教授)、大谷真砂子さん(八尾じんけん楽習塾)、栗本敦子さん(Facilitator's LABO(えふらぼ))、森実さん(大阪教育大学)

参加者の声：・講師との距離が至近で、なんでも気楽に質問ができて、受講生の皆さんも個性豊かで、熱心でとっても中身の深い充実した講座でした。・人学習のポイントなど理論の部分について、今後とても役立つと思いました。・部落問題について正面から向きあうセミナーができそうな気になりました。

組織運営の実践講座×交流会 開催

大阪府「新しい公共支援事業」を活用し、当協会主催人権NPO等創造事業として「組織運営の実践講座×交流会～“理想の組織に近づく”運営のヒント～」を開催します。

「理想はあるがなかなかうまくいかない・・・」というNPOや市民活動団体が通る「もがき」「悩み」のプロセスに対して、活動を継続させる1つの方法である社会的起業を実践している方からの報告を通して、「活動のヒント」を得ることを目的に開きます。

そして、いろいろな人権に取り組むNPO等が交流できる場をつくり、現場の声や具体的なアイデアを出し合うなかで、新たな取り組みやネットワークを創造していきます。

日時：2012年12月22日(土) 13時半～17時半

場所：ドーンセンター(大阪市中央区大手前)

定員：60人(先着)

参加費：1,000円

◆プログラム◆

第1部 社会的起業家からのアプローチ報告
パネリスト：川口加奈さん(NPO法人Homedoor)
&河内崇典さん(NPO法人み・らいず)
コーディネーター：田村太郎さん(一般財団法人ダイバーシティ研究所)

第2部 ネットワークづくりのためのカフェ

参加者で情報交換、ワークショップ

事業報告

えせ同和根絶大阪連絡会議 第6回総会

2012年6月25日、HRCビルにて、第6回えせ同和行為等根絶大阪連絡会議の総会が開催されました。

今総会には企業、行政、業界団体、運動団体など、91団体120人を超える人が参加しました。2007年の結成総会以来、会長を務めた野村明雄さんが勇退、新会長にコスモ警備保障株式会社代表取締役の小高惇兵さんが就任されました。

開会あいさつでは、副会長の西英雄さんが「同和問題について正しく理解しなければ、えせ同和行為はなくなる」と話し、そのためには日頃の同和問題に関する研修が大事と話されました。

続いて、事務局次長柴原浩嗣さんが昨年度の活動報告と、2011年度におけるえせ同和行為等発生報告3件について報告されました。

そして、今年度の活動方針案を、事務局長赤井隆史さんから、①相談及び集約体制の確立(人権相談機関ネットワーク等の連携強化・緊急連絡体制づくり・相談活動や発生報告集約)②加盟団体等での独自の取り組み強化③研修や啓発活動④運営体制の強化を進めていくと提案がされました。

新会長小高さんから、「大阪同企連において活動させていただいた企業人として就任することになった。報告にあったように、えせ同和行為が確実に根絶できて



いる状況ではない。同和問題に対する正しい認識をひろめ、一層の成果をあげたい。そのためにも皆様のご支援をよろしくお願いいたします」と話されました。

おおさか人権協会連絡協議会 第2回総会

2012年8月3日(金)、大阪市内のHRCビル第1研修室にて、おおさか人権協会連絡協議会(2011年10月17日設立)の第2回総会を開催しました。

総会の来賓には、部落解放同盟大阪府連合会執行委員長の北口末廣さん、大阪府府民文化部人権室企画調整グループ課長の西川光廣さんが出席し挨拶を頂きました。

当連絡協議会の事務局の柴原浩嗣さん(大阪府人権協会常務理事)から、2011年度活動報告、2012年度活動方針・役員体制を提案されました。



大阪の人権行政推進のパートナーとして一層の取り組み、人権問題が多様化・複合化する中で、府・市町村人権協会・地域人権協議会が協働して取り組んでいくことを確認されました。

今年度の役員体制は、会長に村井茂さん(大阪府人権協会)、幹事に酒井留美さん(とよなか人権文化まちづくり協会)、中井和真さん(NPO法人ほうじょう)、西口誠行さん(泉佐野市人権協会)、三好義三さん(阪南市人権協会)が就任されました。

一人権協会カフェー新たな相互交流ー

総会の第2部では、「人権協会カフェー人権協会・地域協どうするー」と題して、ワークショップを開催しました。この人権協会カフェは、府・市町村人権協会、地域人権協議会間の相互交流を図ることを目的に開催しました。カフェマスター(進行)を、事務局の柴原浩嗣さんが、リラックスした雰囲気のお店(会場)をつくり、4、5人のグループで、飲み物とお菓子をとって、話し合いを進めました。

人権協会カフェでは①人権協会・地域協の紹介、②人権協会・地域協の課題③人権協会・地域協をこうなったらいいなあ、の3つのテーマで話し合いました。

各テーブルにはホスト役が一人残り、テーマごとにホスト役以外の参加者が他のテーブルに移動し交流します。各テーブルから出された主な意見。

- ・人権協会が高齢化している。
- ・違う団体や、協会間の交流が必要である。
- ・企画がマンネリ化、新しい企画づくりが大変。
- ・庁内のいろんな部局との連携が必要である。
- ・人権協会の自立化。
- ・中長期の年度計画が大切である

カフェ終了後には、参加者から「日ごろ交流できない他の人権協会の方と交流できてよかった」「今後もテーマを決めて話し合いを続ければ、課題を解決できるのでは」「美味しかったし、また開店してほしい」などの感想が寄せられました。

